

生産情報

農業振興課主任 齊藤 大貴



○消雪早く、生育も前進

今冬の最深積雪は2月上旬に管内平均で14.9cmを記録し、前年比123.1%、平年比は181.7%でした。また、消雪の早いところでは前年よりも2週間程早い3月25日に消雪日を迎えています。

当JA管内における「ふじ」の発芽日は、生態の早い地点で昨年よりも5日早い4月2日となりました。1回目の「展葉一週間後頃」における薬剤散布は生態が早い地点で4月17日頃、遅い地点では20日頃と見込まれます（4月10日現在）。尚、気温が高く推移した場合や、降雨がある場合は更に早まることが予想されます。開花については、今後の気温が平年より1℃高く推移した場合、黒石のりんご研究所で4月30日頃と予想されています（ふじ）。

(注) 消雪が遅く地盤が緩んでいる場合、SSでの薬剤散布は非常に危険です。安全を第一に考え、1回目の薬剤散布が困難な場合は農作業事故防止の観点から中止

し、「開花直前」における薬剤散布から本年の防除を開始して下さい。

○凍霜害に注意！

降霜は一般的に晴天無風で、午後7時の気温が6度以下の日の翌朝に発生する危険性が高いことから、気象情報等に十分注意し、防霜ファンを設置している園地では機器の始動点検を行って下さい。防霜ファンを設置していない園地では霜害防止対策資材の準備を行い、被害の軽減に努めて下さい。

○結実量確保に向けて

近年、開花期間中における気象条件の変化によりカラマツが発生しています。マメコバチも減少傾向にあるため、積極的に人工授粉を行います。

○農薬散布にあたっての注意事項

- 散布は降雨前に実施
- 散布間隔は10日以内を守る（6月中旬まで…黒星病重点防除時期）
- 適期・適量散布を徹底する
- 農作業事故には十分注意する

●りんご病害虫防除暦（第5回目まで）

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
1	300 μ ℓ	展葉1週間後頃	トップジンM (水) チオノック (F) バリアード (顆水) ハーベストオイル	1,000倍 500倍 4,000倍 200倍	●クワコナカイガラムシの発生が多い園地では、展葉一週間後頃にアプロード (F) 1,000倍を加用する。尚、アプロード (F) を加用する場合、1回目の展葉一週間後頃の標記薬剤に限り5種混用可能（5種混用試験済み）。
2	320 μ ℓ	開花直前	カナメ (F) 又は、ロンセラー (F) アタブロンSC	4,000倍 3,000倍 4,000倍	●昨年、褐斑病が多発した園地ではロンセラー (F) を選択する。
3	350 μ ℓ	落花直後	ミギワ20 (F) ジマンダイセン (水) アタブロンSC 果面保護剤	4,000倍 600倍 4,000倍	●リンゴハダニの発生が見られる場合は、バロック (F) を加用する（豪雪の影響により展葉一週間後頃の薬剤散布が実施できず、ハーベストオイル200倍の散布がされていない場合も含む）。
5月中旬 コンピューザーRの設置 (100本/10a)					●コンピューターRを5月下旬までに設置し、ハマキムシ類及びシンクイムシ類における次世代の密度低下に努める。
4	350 μ ℓ	落花10日後	デラン (F) エルサン (水) 果面保護剤	1,500倍 1,000倍	●デラン (F) とユニックス (顆水) の混用は避ける。
5	420 μ ℓ	落花20日後	ジマンダイセン (水) ダイアジノン (水) 果面保護剤	600倍 1,000倍	

※赤字表記は本年の防除暦に新しく採用された薬剤。

果実販売動向

販売課 田村 慎平



平素からJA相馬村フルーツソリューションをご利用いただき誠にありがとうございます。3月の果実販売動向をお伝えします。

イチゴにつきましては各産地で2番果から3番果へと切り替わっていく中で月の前半に入荷のピークを迎え、やや大玉傾向だったこともあり潤沢な入荷となりました。後半にはピークを越えて入荷量は微減となったものの、月を通しては安定した入荷となりました。末端では特売なども多く組まれ、売り場も広くとられていたため引き合いは強く、さらに気温の上昇に伴い品質低下が懸念されたため各市場で売価は低めに設定されており、価格はやや弱含みとなったものの活発な荷動きとなりました。

中・晩かん類についてはデコポン・伊予柑・せとか等各品種とも安定した入荷が続きましたが、市場での流通在庫が多く、価格を下げながらの販売となりました。末端では売り場はある程度確保され

ているものの、品質低下や消費停滞などから緩やかな荷動きとなりました。

リンゴについては総体量は多くない中で上位等級品や企画が組まれやすい等級は安定した引き合いがあったものの、小玉・下等級品の回りが多く、こちらは荷動きが鈍く流通在庫が増加して厳しい販売となりました。まだ品質低下によるクレーム等は特に増えてはいないものの、徐々にCA貯蔵品への引き合いが強まり普通冷蔵品の販売は特に厳しくなりました。

今後の見通しですが、イチゴについては入荷量は徐々に減少傾向となるものの品質低下の懸念も強まっていくため、今後も値ごろ感のある価格設定で回転重視の販売となる見込みです。

中・晩かん類については4月中には各品種で終盤を迎えて入荷量は減少していきますが、3月までの流通在庫が多く残っているため

厳しい販売は続く見込みです。こちらも品質低下が懸念されるため、価格を下げてでも回転重視の販売となりそうです。

リンゴについては各市場や業者で年度末向けの在庫整理が終了し、入荷量の増加が予想されます。しかし引き続きいちごの販売拡大に加え徐々に輸入果実の売り場も広がってきており、これまで平台で販売されていた下位等級品・普通冷蔵品についてはさらに厳しい販売となる見込みです。

当農協では3月中はサンふじを継続して販売している中で王林・サンジョナのスマートフレッシュ品を販売しており、王林に関しては4月中頃に販売終了となる見通しです。年明けから継続していたサンふじの袋詰め商品も4月をめぐりに終了となる予定で、今後はGWの販売開始を目指して有袋ふじの選果を進めてまいります。4月中にはすべての品種がスマートフレッシュ処理品に切り替わり、価格も1ランク上がることとなります。今年度は荷動きの鈍い状況が続いておりますが、今後有利販売に努めてまいります。

全農あおもりデータ (3/31 累計)

品 種	王 林	名 月	サンジョナ	サンふじ	シナゴールド	その他	合 計
単 価 (円)	3,956	4,132	4,028	4,125	4,118	3,810	3,987
前 年 比 (%)	93	93	91	90	95	103	96
販売数量 (箱)	355,965	184,779	247,336	2,700,219	47,324	1,784,493	5,320,116
前 年 比 (%)	88	106	90	96	99	82	92

※10kダンボール1箱当りの数値となります

湯口SSS

所員 成田 悠詩



いつも湯口SSSをご利用いただき

誠にありがとうございます。組合員の皆様には、ガソリン販売記録のご記入にご協力いただきありがとうございます。

夏用ワイパーあります

夏用ワイパーが入荷しました。雨の日の安全運転のために定期的

に交換することをおすすめします。

① 拭きムラ・スジが出る
ガラスに水が残ったり、スジ状の汚れが残る。

② 異音が出る

動かすと「ギツ」「ガガガ」な音がする。

③ ゴムの破損

ワイパーゴムが裂けたり、ひび割れがしている。

④ 浮き上がり
ワイパーが高速走行時に浮いてふき取りが悪い。
このような症状が発生したら交換時期です。サイズ選びや交換も受け付けておりますので、お近くのスタッフにお声がけください。ご来店をお待ちしております。

スタンドからのお知らせ

J A相馬村スタンドをご利用いただきましてありがとうございます。昨今の中東紛争の影響から原油の輸送が滞り、価格高騰に歯止めがかからない状況となっております。今後、影響が長期化すれば、燃料の供給自体にも大きな懸念が生じることとなります。

そのため、組合員の皆様に安定的な供給を続けるため、**当面の間、特売日等のイベントを見合わせる**こといたしました。

組合員の皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

タイヤ交換 受付中

夏タイヤへの交換はお済でしょうか？ これからの方はぜひ湯口スタンドにお任せ下さい！

1本660円から承っております。受付時間は、9時から16時までですので、来店順に対応させていただきます。



各種サイズ取り揃えております

